



SATREPS (低炭素社会の実現) プログラム Thailand 4.0を実現するスマート交通戦略プロジェクト



何を目指しているか？ - プロジェクト目標

タイで何が問題か？ - プロジェクトの背景

2023年の目標

1. バンコク市民の生活の質(QoL)が向上し低炭素社会に貢献する「スマート交通統合戦略」を実現する政策パッケージを評価する方法を開発する
2. スクビット通りで応用できる政策パッケージ『スクビット・モデル』を提案する

2026年の目標

QoLが向上し低炭素社会に向けた「スマート交通統合戦略」が、リープフロッグ型（段階を飛び越えて一気に進展する変化する）戦略としてタイ全国に普及する

私たちは車で移動するなど日常生活でエネルギーを使い、温室効果ガスを排出しています。温室効果ガスが増えると地球温暖化が進み、私たちの生活を脅かす恐れがあります。温室効果ガスを減らし、住みやすい低炭素社会を実現することは、世界が協力して取り組む地球規模課題の一つと言えます。タイの首都バンコクは、経済成長に伴い人口が増え、自家用車も増え、交通渋滞が起き、空気が汚れ、温室効果ガスの増加も深刻な問題です。そのためタイ政府はThailand4.0という新たな戦略を掲げました。その優先課題の一つは、人工知能AIなど先端技術を用いて、環境にやさしい、人々の生活の質が高くなる、新しい都市計画（スマートシティ）作りです。このような課題を解決するため、タイと日本の研究機関が、地球規模課題対応技術協力（以下SATREPS）『Thailand4.0を実現するスマート交通戦略プロジェクト』を実施しています。

何を生み出し、どのような効果をタイに残すのか？ - プロジェクト成果

日本とタイは共同で、どのように問題を解決するのか？ - 主なアプローチ

1. どのように土地を利用し交通手段を利用すれば、住んでいる人のQoLが高くなるのか？ そのシナリオをシミュレーションするモデルを開発

バンコク市 - 渋滞が深刻なスクビット通りにて

2. 歩行者、自転車、電気自動車などスマート交通手段が使いやすい、公共交通機関へ乗り継ぎやすい街とは？ Street for all を実現する街区デザインの提案

シミュレーションモデルで将来予測

スマート交通手段の実験

3. 人々はどんな街で暮らすとハッピーなのか？ 土地利用・交通システムのQoL評価手法の開発

人+AIがQoL/幸福感を評価

時空間データの見える化

4. どうやってスマート交通戦略を考えるか？ デジタルアースによる時空間データ可視化

